

令和6年度広島県海外スタートアップ等連携実証プロジェクト創出業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和6年3月18日（月） 13時から15時まで

広島県庁東館7階商工相談室

- ・ 空田 賢治（広島県商工労働局新産業創出担当部長）
- ・ 岡部 光利（独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）広島貿易情報センター 所長）
- ・ 長谷川 充（公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事）
- ・ 門永 吉章（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備））
- ・ 増廣 浩二（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進））

令和6年度広島県海外スタートアップ等連携実証プロジェクト創出業務の公募型プロポーザル審査

広島県商工労働局イノベーション推進チーム

参集

提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得たB社（株式会社リバナス）を最優秀提案者として決定した。

提案者ごとの主な評価・選定理由

【A社：KPMG コンサルティング株式会社】

＜プログラムの内容＞

- ・ スケジュールや選定パイプラインなどは現実的な提案であるが、事業目的の海外展開への寄与に不安があると評価された。

＜支援対象企業の募集＞

- ・ 支援対象企業の具体的なターゲットがイメージされておらず、時間的に間に合うか不安があると評価された。
- ・ 広島での実績が不透明であり、募集方法も一般的であることから、企業の掘り起こしに不安があると評価された。

＜支援対象企業への海外スタートアップ等との連携による新事業提案＞

- ・ 海外での広いネットワークを有している点や、十分な面談機会の確保が予定されている点が評価された。
- ・ ピッチイベントの効果が限定的と評価された。

＜選定企業へのハンズオン支援＞

- ・ 現地への同行により、円滑なマッチングが期待できると評価された。
- ・ 具体的なアプローチやプロセスの提案が不十分であると評価された。

＜実証プロジェクトの実効性＞

- ・ ロードマップの具体性が不足していること、また、事業終了後も支援対象企業が自走できるよう社内における実施に向けたコミットメントに関与する取組が必要であると評価された。

＜総括＞

- ・ 広く海外にスタートアップのネットワークを有し、マッチング力に期待はあるが、事業の目的である県内企業の海外展開の促進効果についてはやや不安があり、工夫の余地があると評価された。

【B社：株式会社リバネス】

<プログラムの内容>

- ・ 過去の実績を踏まえた改善点・工夫があると評価された。

<支援対象企業の募集>

- ・ 支援対象企業の募集方法に具体性があり、実現可能性が高いと評価された一方で、マンネリ化を懸念する意見もあった。

<支援対象企業への海外スタートアップ等との連携による新事業提案>

- ・ ワークショップのテーマ、目的、事後課題などは適切と評価された。

<選定企業へのハンズオン支援>

- ・ 海外現地への同行など、円滑なマッチングが期待できると評価された。

<総括>

- ・ 各プログラムの位置づけや内容は適切と考えられ、事業効果が期待できると評価された。